

取扱説明書

原工務店製のZ型・L型金物、コの字型金物お買い上げ、誠にありがとうございます。下記注意事項をよくご理解の上、施工、ご使用頂きますように、お願い申し上げます。

絵表示について この絵表示がされている項目は必ずお守り下さい。



警告！

人が**死亡または重傷**を負う恐れがある内容を示しています。



注意！

人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。



警告！

本製品および取り付けした水平部材には絶対に乗ったりぶら下がったりしないでください。

落下によって身体に重大な危険性があります。

本製品は人がのることを前提に設計されていません。人の重みで落下、変形する可能性があります。重量物を載せたり、足場、梯子等をかけることもできません。



警告！

サイディング、胴縁、木ずりなどに止めないで下さい。必ず**柱、梁、胴差など躯体に直接**にビスが十分に効く状態に取り付けて下さい。

また仮止めのまま放置したりしないで下さい。



警告！

布団掛けとしてご利用の場合には、**かけた布団などが落下した場合の安全性を配慮して下さい。**人や車が通る場所や、落ちた場合に事故が考えられる所には絶対に設置しないで下さい。3階以上の階には設置しない出下さい。



注意！

本製品は手摺りとしては設計されていません。手摺りの受け材としてご使用の場合は、サッシとの間隔など安全性についてよくご検討ください。

その他ご注意していただくこと。

◎養生シートは、長期間放置しますと大変めくりにくくなる場合があります。

◎金物上に金属を放置しますともらい錆で錆びる場合があります。付近で溶接、金属切断作業をする場合は必ず養生してください。

◎※UC-14以外は**勝手(右用・左用)**と**上下(天地)**があります。



警告！

建築関係以外のお客様へ

取付はご自分でなさらず必ず工務店、大工さんなど専門の業者様に依頼してください。

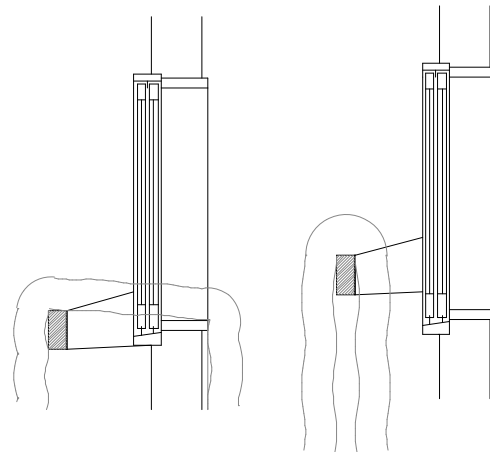
設置の計画について

水平部材の寸法はスパンや使用状況を配慮の上で決定して下さい。金物の取まり上、仕上がりで40×100は最低必要です。耐久性の高い樹種の木材を選んで下さい。

布団掛けとしてご使用の場合は、ご使用方法などを考慮の上、取り付けの位置、高さをご検討下さい。窓枠を使って右図Aのようにお使いの場合ですと窓台と同じぐらいの高さ、単独でかける右図Bの場合ですと少し高めに設置すると布団を掛けやすいです。ただし窓台が高い場合は高い位置に設置しますとかけにくくなります。

布団が落下した場合の安全性をご検討下さい。人や車が通る場所や、落ちた場合に事故が考えられる所には絶対に設置しないで下さい。3階以上の場所には設置しないで下さい。

意匠用の場合は外観上バランスのよい位置に設置して下さい。



図A

図B

意匠用の場合は外観上バランスのよい位置に設置して下さい。

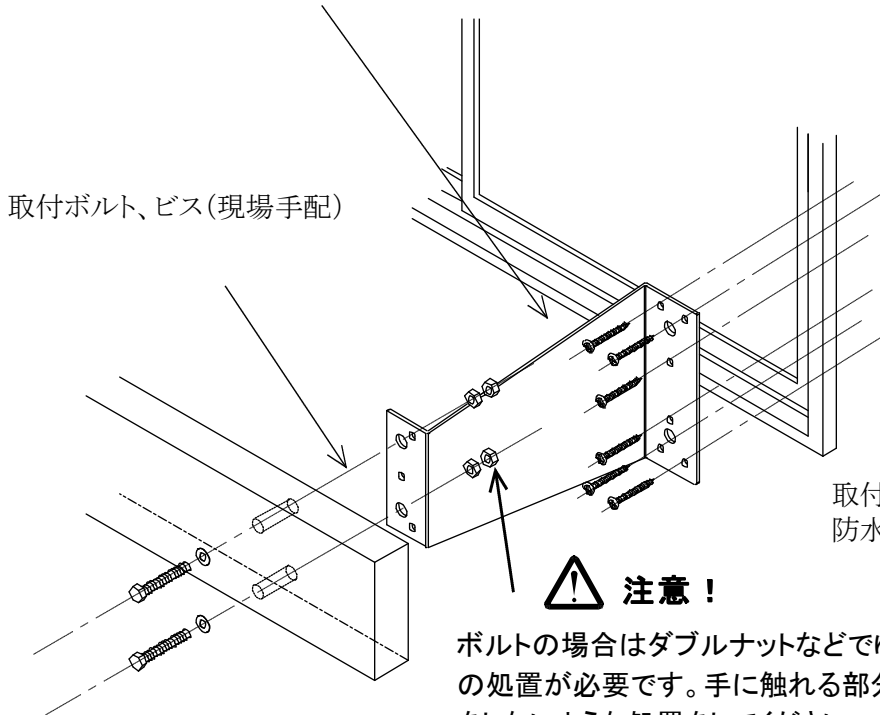
参考収まり例

※UC-14以外は勝手(右用・左用)と上下(天地)があります。

Z型金物(UC-22A、UC30A)の場合

取付ビス(現場手配)

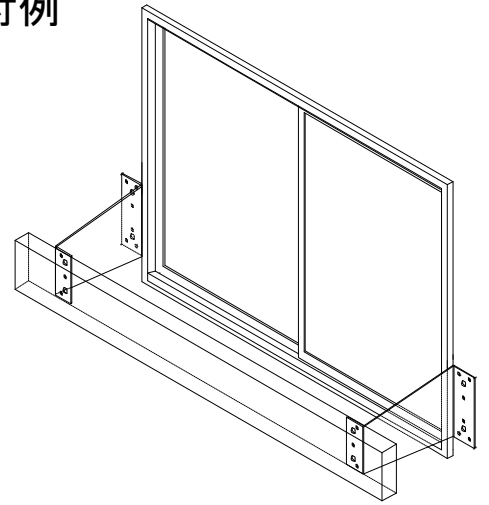
ボルト、コーチボルト等でも取付可能です。



注意!

ボルトの場合はダブルナットなどでゆるみ止めの処置が必要です。手に触れる部分には怪我をしないような処置をしてください。

取付例



取付ける部分はあらかじめ防水テープ、シートなどで防水してください。

警告!

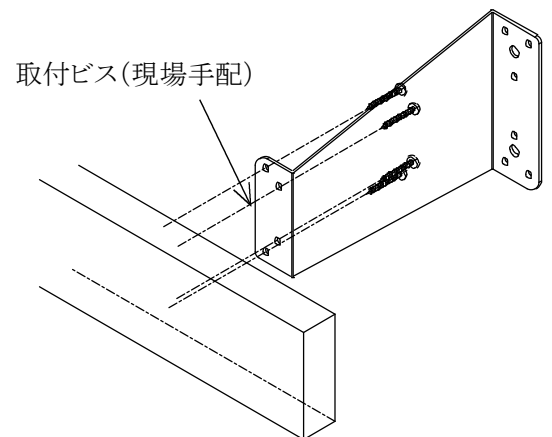
サイディング、胴縁、木ずりなどに止めないで下さい。必ず柱、梁、胴差など躯体に直接にビスが十分に効く状態に取り付けて下さい。また仮止めのまま放置したりしないで下さい。

警告!

建築関係以外のお客様へ
取付はご自分でなさらず必ず工務店、大工さ

Z型金物(NI-22B)の場合

水平部材はビスで取り付けて下さい。



取付ビス・ボルトについて。(各商品共通)

取り付けビス、ボルトの例(一般木造住宅の場合)

建物側

6×60程度のタッピングビスまたは木ねじ

8mmのコーチボルトや貫通ボルトでも固定可能

(通気胴縁、構造用面材などがある場合はビス、ボルトが十分に躯体に十分に効く物を選んで下さい。)

水平部材側

UC型 8mmボルトナット or 5~6mmのビス

NI型 5mmのビス

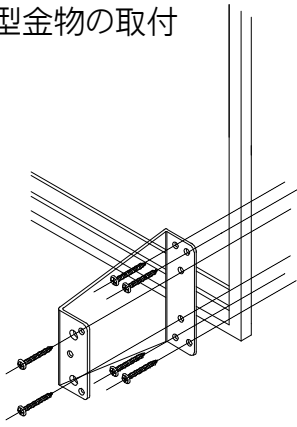
(ビスの長さは水平部材の厚みあう物をお選び下さい。)

水平部材固定ビスについて

水平部材の木材の厚さが薄いとき、材料が柔らかいときビスのききが悪い場合は、UC型にて貫通ボルトでの固定をおすすめします。

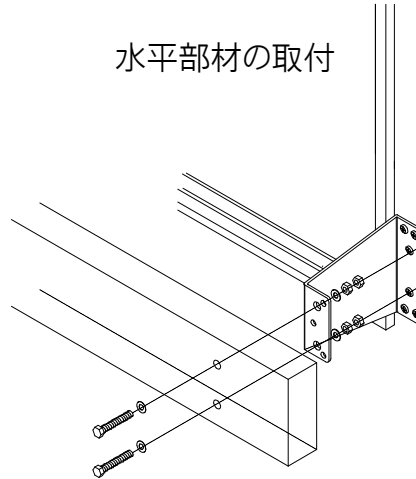
コの字型金物(UC-14C)の場合

コの字型金物の取付



長いビット、継ぎ足しビットなどを使って、水位部材取り付け用のボルト穴にビットを通して取り付けビスを締め付けてください。

水平部材の取付



水平部材は、ボルトとナットで固定して下さい。
(ビスでの締め付けは間隔が狭く困難です。)



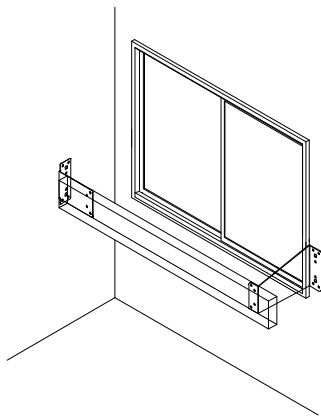
注意!

ダブルナットなどでゆるみ止めの処置が必要です。手に触れる部分には怪我をしないような処置をしてください。

L型金物(NI-L15E)の場合

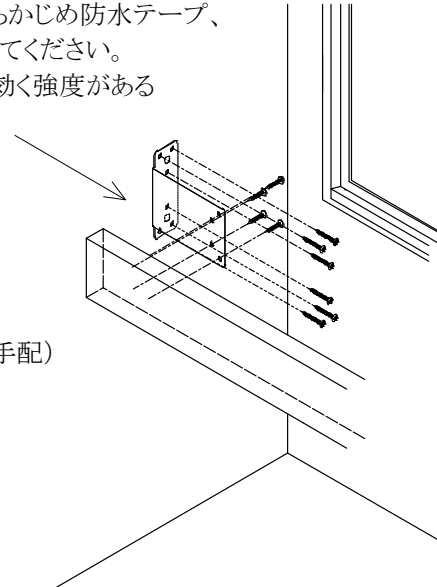
L型金物は入り隅用の金物です。
Z型金物と組み合わせて使います。

取付ける部分はあらかじめ防水テープ、シートなどで防水してください。
取付ビスが十分に効く強度がある下地が必要です。



取付例

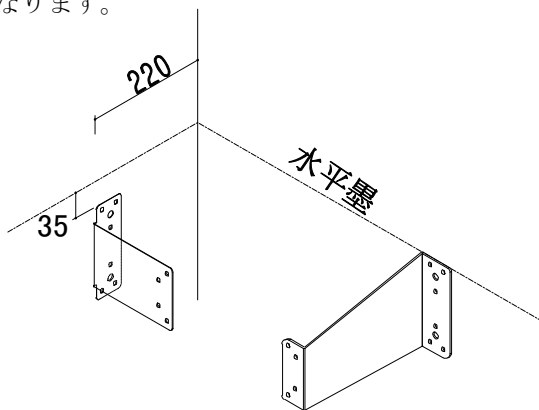
水平部材はビス(現場手配)で取り付けして下さい。



取付位置について

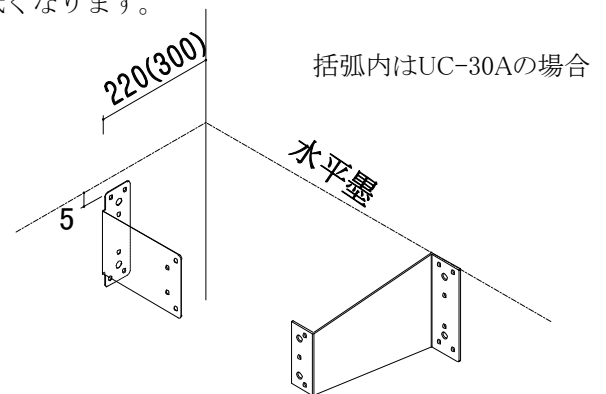
L型の相手がNI-22Bの場合

建物側の金物天端がL型金物の方が35mm低くなります。



L型の相手がUC-22A(UC-30A)の場合

建物側の金物天端がL型金物の方が5mm低くなります。



製造・販売

取り付けビス、ボルトは別途です。

現場の状況あった物を施工者様で現場手配してください。

 原工務店

大阪市東住吉区西今川2丁目18番16号
TEL 06-6704-6223 FAX 06-6704-6277